

第12条 ファウルと不正行為

第12条 ファウルと不正行為 競技規則変更の概要

- ・ペナルティーキックが与えられる意図的でないハンドの反則は、ボールをプレーしようと試みて、または、ボールに向かうことで(相手競技者に)チャレンジした反則と同じ方法で罰せられることを明確化する。



「ボールをプレーしようと試みて、または、ボールに向かうことで(相手競技者に)チャレンジした反則と同じ方法で罰せられる」

って何？

反スポーツ的行為に対する警告

・相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害または阻止するためにその他の反則を行う。ただし、ボールをプレーしようと試みて、または、ボールに向かうことで(相手競技者に)チャレンジして反則を行い、主審がペナルティーキックを与えた場合を除く。

・ボールをプレーしようと試みて、または、ボールに向かうことで(相手競技者に)チャレンジして反則を行い相手競技者の決定的な得点の機会を阻止し、主審がペナルティーキックを与える。



反スポーツ的行為に対する警告

大きな攻撃を妨害または阻止する反則(ハンドの反則以外)

ボールにチャレンジした

ボールにチャレンジしていない

PKを与える

ペナルティーエリア外

警告

ノーカード

警告



退場となる反則

得点または決定的な得点の機会の阻止(DOGSO)

ボールにチャレンジした

ボールにチャレンジしていない

PKを与える

ペナルティーエリア外

退場

警告

退場



競技規則2023/2024

反スポーツ的行為に対する警告 P.106

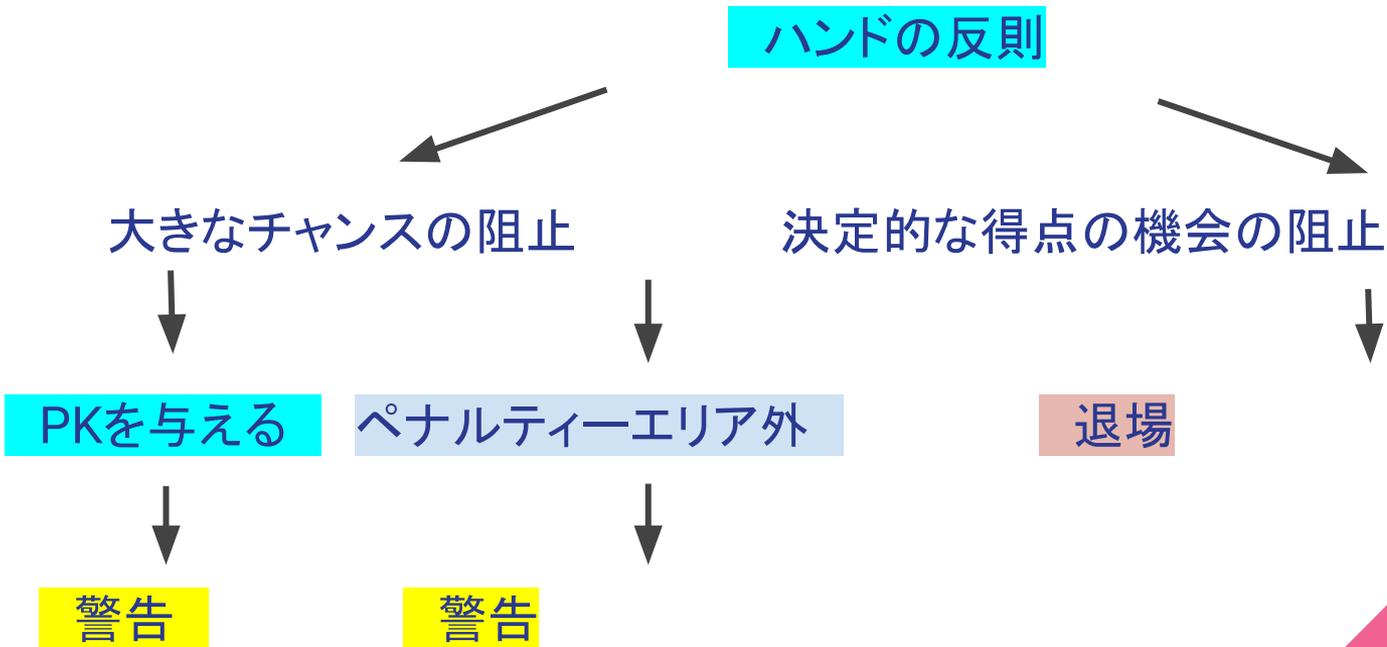
・相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害または阻止するためにボールを手や腕で扱う。

得点または決定的な得点の機会の阻止(DOGSO) P.108

・競技者が、ハンドの反則により、相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止した場合、反則が起きた場所にかかわらず、その競技者は、退場を命じられる。



競技規則2023/2024



競技規則2024/2025

反スポーツ的行為による警告 P.112

- ・相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害または阻止するためにボールを手や腕で扱う。ただし、意図的でないハンドの反則として主審がペナルティーキックを与えた場合を除く。

- ・相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止し、意図的でないハンドの反則として主審がペナルティーキックを与える。



競技規則2024/2025

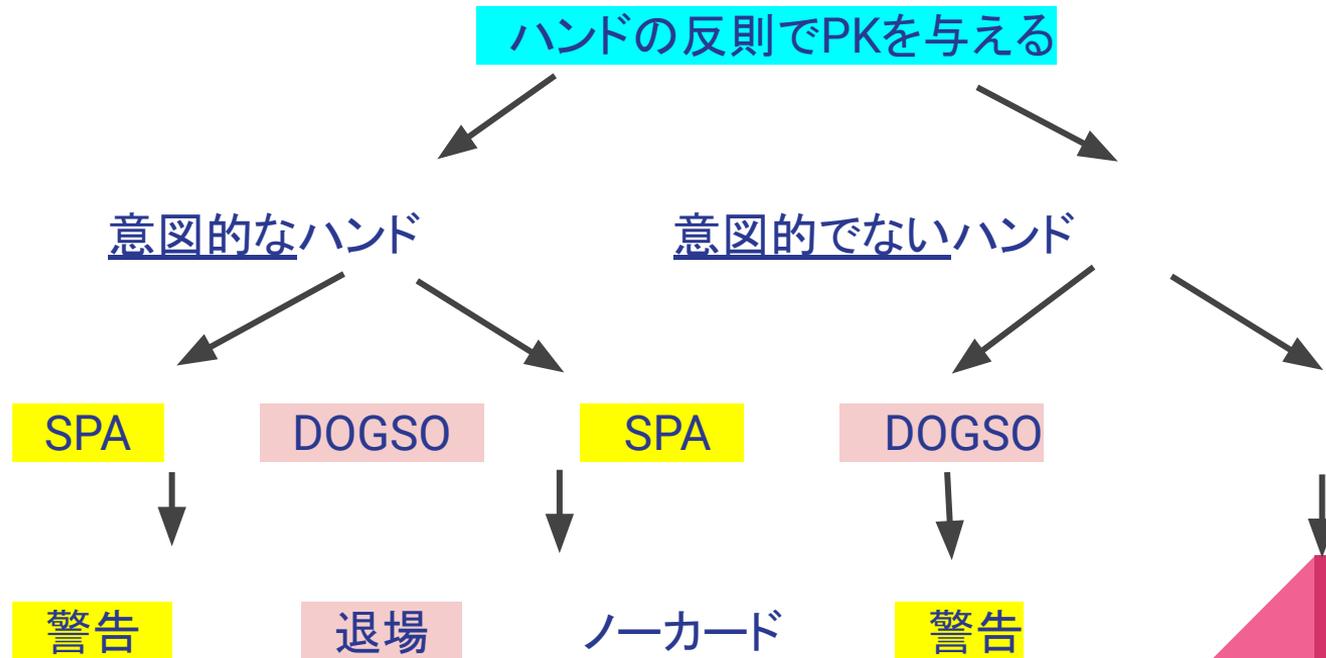
得点または決定的な得点の機会の阻止 P.114

競技者が、意図的なハンドの反則を行い、相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止した場合、反則が起きた場所にかかわらず、その競技者は、退場を命じられる（自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが手や腕でボールに触れた場合を除く）。

https://youtu.be/1delzC_HsN4?t=120



ハンドの反則での警告・退場の有無



意図的でないハンドの反則

手や腕で体を不自然に大きくして、手や腕でボールに触れる。手や腕の位置が、その状況における競技者の体の動きによるものではなく、また、競技者の体の動きから正当ではないと判断された場合、競技者は、不自然に体を大きくしたとみなされる。競技者の手や腕がそのような位置にあったならば、手や腕にボールが当たりハンドの反則で罰せられるリスクがある。

意図的なハンドの反則

例えば手や腕をボールの方向に動かし、意図的に手や腕でボールに触れる。

